

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 , 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームアイケアおたる 1F	評価実施年月日	平成19年12月15日
	中村・一條・松浦・藤井・渡辺・光野・岩崎・倉本・石垣		
記録者氏名	中村	記録年月日	平成19年12月18日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念の共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。		地域との交流を深めて行くためにも今後取組んで行きたいと思います。回覧板を利用したりして行きたいと思います。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	毎朝申し送りの前に理念を読んだり、玄関、フロアーの上部に展示しており、名札の裏に常に携帯している。		理念をもって業務に従事していくためにも毎日の申し送りに理念を読み上げ意識して職務に、つくためにも、継続していきます。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	入居時に説明、運営推進会の会議にも説明、職員全体が理念に沿った介護に取り組んでいます。		年に3回のホームの新聞を発行して玄関先に展示、毎月のお手紙にも差出し、御家族、面会者の方、地域の方々に理解して頂けるようにしております。
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	町内の行事に出来るだけ参加をしております。買い物も町内の商店でしたり、少しずつではありますが付き合いが出来てきていると思います。		今後も出来るだけ、行事に参加し町内の方々と気軽に話し、挨拶が出来るよう心掛けて行く事に努めたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内回覧板が廻ってくるので行事に参加しておりますが、今年は施設の行事にも、近隣のお子さん方の訪問もあり、少しずつではありますが地域との交流に努めております。		地域活動には、極力参加させて頂いておりますが、今後も機会がある都度、職員と相談をして、地域との交流に努めていきます。
6	事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	現在は至っておりません。運営推進委員会を通じて少しずつ取り組んで行かなければと思っております。		運営推進委員会の回数を増やし地域との交流に努めます。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	職員に評価を説明し今後の改善策に取り組んでいます。		フロアー会議で業務の見直しなどを話し合ってます。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている。	会議で話し合った事を再度職員と会議で話し合い地域との交流に努めて行きたいと思えます。		最初は施設の近辺からの交流にと、親睦を深める事に努めます。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	介護保険課、福祉課に相談しております。今後の質の向上に取り組んで行きたいと思えます。		質の向上を上げるためにも、行政の方々のアドバイス、指導の下で取り組んでいきたいと思えます。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	キーパーソンがおられる方には相談しておりますが、いられない方もいるため今後は活用することがある。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員は常日頃言動に注意し、身体拘束のない行動に努めております。		身体拘束のないケアに職員は実践しています。
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時契約の説明をする時には解りやすく説明しております。解約時にも理解して頂くように取り組んでいます。		説明後再度理解出来ていない部分があるときには説明しております。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族の要望、利用者さんの苦情などを聞き取りその事をフロアー会議にて、話し合っております。		利用者さんと居室で話す機会を設けて、少しでも不平不満を言っていたりしておりますが今後も話しを聞く機会を多く少しでも満足出来るように取り組んでいきます。
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	毎月お手紙の中に日常生活での出来事、金銭管理の明細、年に3回の新聞を発行してホームでの生活を、お知らせしております。		今後もお手紙でキーパーソンに、ご本人が施設で1ヶ月どの様な過ごし方をされているかをご報告していきたいと思っております。
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関にご意見箱を設置しております。意見などがあった時はいつでも対応出来る様にしております。		現在御意見箱には、苦情、御意見は入ってはおりません。家族からのお願いだとか、要望は職員が聞くこともあります。
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会社上層部と個人面談を設け、職員の意見を聞き、改善する事があれば聞き入れております。		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	入居者さんの生活状況に合わせ勤務の時間帯を決めております。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	利用者さんと職員が馴染みでいられるように、職員が働きやすい職場作りに配慮しております。		職員が仕事の面で悩みなどがあるときには、相談受けて働きやすいように努めていきたいと思っております。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	年数経験に応じて実践者研修、小樽市での研修にも参加されております。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	年に数回の同業者との交流があり質を向上させるためにも参考にして、取り組んでいます。		今後はいろいろな参加活動していきたいと思います。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	職員の希望勤務を取り入れたり、悩みを相談したりしております。		
22	向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	日々の勤務に対する評価、適切でないときには、指導されてます。		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	本人の不安を聞き取り、ご本人がどのように日常生活が送れるかを受け止めてその人らしい暮らしが出来るように努めております。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	グループホームの見学をして頂き、入居者さんの普段の生活や、たずさわる職員の様子を見て頂きながら、ご家族のお話を聞き受け止めるように努めております。		家庭的な雰囲気生活している事を見学して頂き施設の対応をしていきたい。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居者さんや家族が必要としていることを支援するためにも、ご家族からの情報、家族歴などを取り入れ、ご本人がどのように生活出来るか本人との会話を多く取り入れて、対応しています。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご家族からの情報などを取りえて、職員と話し合い穏やかに生活出来る様に取り組み、以前に使用されていた物などを調達したりしています。		馴染みの物として、お茶碗なども以前に使用されていたのを使って頂くようにしています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	人生経験が、長いのでいろいろ教わる事もあり聞き上手になり、支え合う関係に取り組みでいくことが良い関係になるように築き上げていくことを努める		関わりを多く持ち職員がどの様なときにもご本人の気持ち添えていくことが出来る様に努めたい。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家族の協力にて職員の対応の関わり方も変わることもあり、家族との信頼関係が深まりよりよい関係が出来る様に努めています。		今後も家族との協力得て穏かに過ごしやすい環境で生活出来るように取り組みたいです。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	介護計画を意識し日常の変化がある時には家族と相談しております。		面会時には日頃の事をお話しをされています。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの方の訪問もあり、居室には以前に使用されてた調度家具などを設置するようにしております。		知り合いの方の訪問があると自室で話され、話がはずみ時間のたつのも忘れてます。又入居者さんも知り合いの方の所に行かれる時もありますが、一部の方のみですが他の入居者さんにも取り組んでいきたいとおもいます。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者さん同士の関係を把握し、食卓の席やくつろぎの場所を作っています。		会話の内容や、状況を把握しながらスタッフがさりげなく間に入り関係を持ちやすくなるような関わりを心掛けています。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	病院へ入院した方へは面会に行くことができました。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で把握に努めている。言葉や表情、家族からの情報などからも把握していけるように、心掛けている。		普段の会話や表情から把握に努めております。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族の方からの情報や本人との何気ない会話の内容を記録し生活暦やなじみの暮らし方の把握に努めている		本人との会話、家族との会話から把握に努めています
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人一人の生活暦と一緒に生活しながら、本人が出来る事などを理解し無理なく継続していけるものを探っています		普段の会話や表情家族からの会話の中から把握に努めています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ケアカンファレンス(月1回)を本人家族の要望などを聴き定期的にアセスメントを含めたモニタリングを行い介護計画の作成に努めています。		常に本人の側に立ったケアのあり方について学んでいきたいです

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	毎日個人記録を記入し、スタッフ間で情報を共有できるようにし、毎日の関わりやケアプランの見直しに役立っている。		定期的なカンファレンスの実施と介護計画の作成。
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日個人記録を記入し、スタッフ間で情報を共有出来るようにし毎日の関わりやケアプランの見直しに役立っている。		毎日の生活の様子、言動を個人記録として残していく
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	歯科の受診により歯科衛生士などから助言指導を受けています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域の小学校行事への参加や催物への参加・ホームの行事では、保育園児ボランティアの訪問により歌・踊りを楽しんでいます。		ボランティアの活用を増やしていきたい。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	ペット、車椅子のリースを行っております。リースが必要なときには家族にも相談、職員とも検討しています。		車椅子の必要性がないと判断したときには、家族に連絡してリース解約しております。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターとの協働している事例はありません。		今後必要に応じて協働していきたいです。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	係りつけの病院に受診しています。健康状態が良くない時には対応して下さり処方していただきます。		
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	往診時主治医が本人から話を聞いた後、管理者や職員が足りない部分を補足し対応しております。		夜間帯でも主治医に連絡が取れるため利用者さんの健康管理に努めるためにも今後も維持していきたい。
45	看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力医が24時間体制なので相談にのって頂いています。往診機関についても24時間対応。		調剤薬局の方にもお薬の相談にのっていただく事もあります。
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入居者さんの事を第一に考え医師・家族と話し合い退院後の過ごし方を職員と検討しています。		今後も入居者さんのために医師と相談していきます。
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	入居時契約の際重度化や終末期のあり方について説明しております。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	重度化された方はいませんが今後はあり得るためかかりつけの主治医と検討して行きたいと思います。		

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	入所時には、出来る限り本人の馴染んだ物を持ってきて頂いています。		本人の生活のペースを尊重して行きます。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重				
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	利用者個人の生活歴、習慣などを職員が理解するように努めています。プライバシーを配慮した声掛けや支援を心掛けている。		職員の意識としては薄い部分があり配慮が必要。
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	個々に合わせた声掛けを考え表情を読み取りわかりやすい説明を心掛けています。		こちら側の押しつけではなく出来る限り、その人らしい生活することが出来る様に心掛けている。
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の生活ペースを尊重し出来るだけ本人の希望に添った一日を過ごせるようにしています。		本人のペースに出来る限り近づけるように心掛けている。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	本人が選んで着替えが出来るような支援を行っている。定期的に理美容院を利用しておしゃれを楽しんでもらっています。		外出する時の身だしなみの支援やお化粧品をされていた方にはさり気ない声掛けをして意識をもって行く様にかかわる。
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	スタッフと利用者が同じテーブルにて楽しく食事が出来るようにしている。調理、片付けなど出来る事を一緒に行っている。		調理、盛り付け方を一緒に考えていける事も必要と思われる

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	早朝はモーニングコーヒー、10時には好みの飲み物を飲まれており、燕下の悪い方にはトロメイクを入れむせ込みのない様に工夫しております。タバコを吸われる方には定位置でスタッフ見守りにて、吸われています。家族持参されたワインを週に1度位の割合で、薄めてほんの少し飲まれ楽しまれております。主治医と相談もされています。		早朝ティータイムは、今までどうり希望の物を提供したいと思います。15時のティータイムは皆さんと、一緒に手作りのものを作り楽しんで行きたいと思います。
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	定時的にトイレ誘導を行ってますが時間のずれがあり汚れる事もあります。本人からの訴えでトイレ同行もされています。		声掛けにてトイレ誘導する事によりオムツの枚数も減り、又下着を汚す事が減りいつも快適に過ごす事が出来るため今後も支援して行きたいと思います。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	常に安全性に気をつけ危険のないように心掛けています。脱衣所と欲室の温度差の確認を行って入浴されています。入浴時心身共にリラックスして頂くためにも、一緒に歌を歌ったり又お話し好きの方には、懐かしいお話を聴かせてもらい楽しいひと時を過ごして頂いています。一番風呂に入りたい方が多く曜日ごとに変更され、週一で一番風呂に入れる様工夫しております。		今後も希望に添えるように工夫し、入浴時はリラックスして頂けるように取り組んで行きたいと思います。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	眠れないときには暖かい飲み物を提供したり、ラジオやテレビを聴きながら睡眠をとって頂き、又部屋を明るくし安眠出来る様に支援しています。日中手芸などで疲れたときにはいつでも休息が出来る様に支援しております。		昼夜問わずお話しを伺い不安を取り除き安心して休息出来る様に支援していきます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	趣味や、昔していた仕事を活かして自然の流れで手芸や編み物をして頂いています。縫い物の得意な方には台布巾や雑巾を作って頂いています。又私の出来る事であれば茶碗拭きをして下さる方もいらっしゃいます。		調理のお手伝いなどもう少しして頂けるようスタッフの心の余裕と気配りがあるとよいと思います。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人の手持ちのお金で、身の回り品を買われたり食べ物を買われたりされています。買い物ツアー等ではお小遣いで楽しんでいます。		ご自分で、お財布の中からお金を出して買い物をする楽しみを持てる生活を支援して行きたいと考えております。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	季節感を感じて頂くように戸外での食事、近くの学校、保育園、町内の祭りの参加庭園での食事に出かけてます。個別にデパート市場の見学買い物など個別には出かけてますが、限られた方なので検討して行きたいと思います。		外出出来る機会を多く気分転換を味わって頂きたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	家族と外出する方もおります又レストランに出かけたり、季節にあわせての外出もしておりますが、利用者さんと家族職員と出かける事はありません。		外出する時家族の同行があったら、もっと楽しいツアーになると思うので企画を検討して取り組みます。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族との電話のやり取りはされています。手紙を書いたら職員が郵送しに行く事もあり、一緒に出しに行く事もあります。		遠くにいる家族との接し方は電話にて話されています。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	入居者さんが昔からのお付き合いをしてくる方が訪問されたり、知人の面会に来られ自室にて話されています。		今後も気軽に来られる様におもてなししていきます
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は禁止されている行為であるため、身体拘束委員会を設け更に勉強会を行っていきます。		職員の意識、理解を得る為にも今後話す場を持つ。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	夜20時から朝7時までには防犯上玄関を施錠しておりますが、日中は玄関鍵を掛ける事はありません。居室は24時間鍵は掛けておりません。		今後も今のままで行っています。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67	利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日常は職員が見守りに注意気配りし、夜間帯は常に巡回し安全に配慮しています。		日々穏かに生活が出来るように気を配りながら、支援していきたいと思っております。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬品洗剤などは、入居者さんの手の届かない場所に保管しております。		リスクを免れるためにも、今後も現状維持していきます。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	転倒や誤薬については、月に1度の会議、緊急会議を開き話し合っております。今後も知識を身につけ個々の状態に応じたケアがされるように取り組んでいきます。		事故がないように日々の介護に支援していきます。
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	目のつく所に通報要領を提示しています。管理者に報告、主治医に連絡出来るようにしています。		今後も勉強会を行い救急対応できるようにしていきます。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練をした時に消防士の方々の説明を受けております。地域の方々との交流を深めて協力得られるようにしていきたいと思っております。		運営推進委員会を取り組んで地域の方々とのつながりを持つように努めていきます
72	リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	利用者さんの日々の生活を見て職員と会議、カンファレンス、を行い介護計画書を作成し家族に、説明をしております。家族の面会時には職員と対応し、今後のことなどを話される事もあります。		毎日の生活の中での出来事について、職員と話し合い対応していきます。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日バイタル測定を行っており月2回の往診、受診があり体調不良時には、主治医に連絡、支持を仰いで頂いております。		毎日定時にバイタル測定を行って体調管理をしています。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方箋を個人ファイルに保存、常日頃見れるようにしております。自ら服用できる方には、飲み込んだのを確認し、困難な方には介助にて服用されております。職員全体が、理解されていないため、薬の本を見て調べる事もあります。		状態が変わる時には、主治医に連絡して薬の調整をして頂いたり、支持にて介助しております。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	往診、受診時に便秘の対応をその旨伝え薬を指示して頂き、又水分の補給、繊維質のある食物を多く摂取できるように食事の献立に取り組んでいます。		温度板に毎日排便の確認を行ってます。トイレ誘導の方は確認できるのですが、本人が行かれる時には、排便の確認が難しいのでお腹の張りなどで、下剤を使用する事もあります。繊維質の食材を摂取されたり、水分多く取るようにしております。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後口腔ケアをしております。訪問歯科で、口腔ケアをされていますので、口空ケアの仕方などを説明して頂いたり、歯石を取り除いて頂いております。		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	献立作りは職員が作っております。バランスよく食事摂取できるように1週間のメニューを作成しております。水分補給は時間を決めて飲水、それ以外にも捕給され1日の水分量を目標にしています。1日の水分量、食事摂取は記載されております。		食事の献立に留意していますが、利用者さんが食べたい物も取りえて献立してます。塩分も控えめにしていますが、病状に合わせた食事療法が困難な方には主治医と相談したりしていますが、今後も更に取り組んでいきたい。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防の研修に参加されたり、保健所からの通達書類を参考にして、職員が対応しております。		目に付く所に注意事項を展示し、常に職員が察知出来る様に心掛けています。健康管理、衛生管理に今後も努めます。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	調理器具を使用した後は除菌しています。食品は、賞味期限の確認、買い置きを少なく常に新鮮な食材にと管理に努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	入り口が解り易いように手作りの看板が設置されております。又ベンチがあり気軽に談話できるようにしております。		玄関前にベンチがあることにより季節に応じて楽しみ方も変わりますが、ベンチがあることによりコミュニケーションが取れています。
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	家庭的な雰囲気与生活が送れるようにしております。		フロアにジュウタンを敷き横になったりして頂けるようにリラクスの場を設けております。トイレには季節のものを飾りつけています
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	食卓テーブル、カウンター、ソファーと好きな時にゆっくり過ごせれる空間は揃えております		利用者さん方はそれぞれの生活のリズムで過ごされています。
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	ご家族と居室の配置を相談し、安全性を考慮し、使用していた物を居室に置かれ、馴染みの物を見て、その人らしい生活を送られるように、工夫しております。		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	窓の換気各部屋の窓の開閉により換気を行い各部屋に温時計、湿度計を設置しています。冬には各居室にバスタオルを濡らし乾燥防止に努めております。		居室、フロアに於いても湿度計、空気入れ替えをしています。夜間は居室の温度も確認されています。

	<p style="text-align: center;">取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)</p>	<p style="text-align: center;">印 (取組んで きたい項目)</p>	<p style="text-align: center;">取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)</p>
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p style="text-align: center;">身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		<p>玄関前には、スロープになっていますが手すりもあり、職員見守りにて歩行されています。バリアフリーにはなってはいますが常に歩行状態を見ています。</p>
86	<p style="text-align: center;">わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>		<p>トイレには解りやすく提示していますので居室と間違える事はありません。</p>
87	<p style="text-align: center;">建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>		<p>毎年アイケア農園を利用者さんと菜園を作り楽しみ、玄関前で昼食会をしたり施設での楽しみを活かす事を今後も行っていきます。</p>

. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p>

. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

家庭的な雰囲気、日常生活が送れ穏やかに暮らす事が出来、常に理念に基づき「目配り・気配り・心配り」をモットーに支援試みにて援助していきます。

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所・小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームアイケアおたる2F	評価実施年月日	平成19年12月15日
	中村・木川・高階・林・後藤・白井・山崎・野島		
記録者氏名	中村	記録年月日	平成19年12月18日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。		地域との交流を深めて行くためにも今後取組んで行きたいと思います。回覧板を利用したりして行きたいと思います。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		理念をもって業務に従事していくためにも毎日の申し送りに理念を読み上げ意識して職務に、つくためにも、継続していきます。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。		年に3回のホームの新聞を発行して玄関先に展示、毎月のお手紙にも差出し、御家族、面会者の方、地域の方々に理解して頂けるようにしておりますが、これからも地域との交流を深めて行きたいと思います。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。		今後も出来るだけ、行事に参加し町内の方々と気軽に話し、挨拶が出来るよう心掛けて行く事に努めたい。散歩に行くと近所の方が気軽に話してくださる。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。		地域活動には、極力参加させて頂いておりますが、今後も機会がある都度、職員と相談をして、地域との交流に努めていきます。
6	事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。		運営推進委員会の回数を増やし地域との交流に努めます。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	職員に評価を説明し今後の改善策に取り組んでおります。		フロアー会議で業務の見直しなどを話し合ってます。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議で話し合った事を再度職員と会議で話し合い地域との交流に努めて行きたいと思えます。		最初は施設の近辺からの交流にと、親睦を深める事に努めます。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	介護保険課、福祉課に相談しております。今後の質の向上に取り組んで行きたいと思えます。		質の向上のためにも、行政の方々のアドバイス、指導の下で取り組んでいきたいと思います。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	キーパーソンには相談しております。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員は常日頃言動に注意し、身体拘束のない行動に努めております。		身体拘束のないケアに職員は実践してます。会議の中でも言葉使いなど話されています今後も注意を払い努めます。
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時契約の説明をする時には解りやすく説明しております。解約時にも理解して頂くように取り組んでいます。		説明後再度理解出来ていない部分があるときには説明しております。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族の要望、利用者さんの苦情などを聞き取りその事をフロアー会議にて、話し合っております。		利用者さんと居室で話す機会を設けて、少しでも不平不満を言っていたりしておりますが今後も話しを聞く機会を多く少しでも満足出来るように取り組んでいきます。
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	毎月お手紙の中に日常生活での出来事、金銭管理の明細、年に3回の新聞を発行してホームでの生活を、お知らせしております。		今後もお手紙でキーパーソンに、ご本人が施設で1ヶ月どの様な過ごし方をされているかをご報告していきたいと思っております。
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関にご意見箱を設置しております。意見などがあった時はいつでも対応出来る様にしております。		現在御意見箱には、苦情、御意見は入ってはおりません。家族からのお願いだとか、要望は職員が聞くこともあります。
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会社上層部と個人面談を設け、職員の意見を聞き、改善する事があれば聞き入れております。		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	入居者さんの生活状況に合わせ勤務の時間帯を決めております。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	利用者さんと職員が馴染みでいられるように、職員が働きやすい職場作りに配慮しております。		職員が仕事の面で悩みなどがあるときには、相談受けて働きやすいように努めていきたいと思っております。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	年数経験に応じて実践者研修、小樽市での研修にも参加されております。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	年に数回の同業者との交流があり質を向上させるためにも参考にして、取り組んでいます。		今後はいろいろな参加活動していきたいと思います。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	職員の希望勤務を取り入れたり、悩みを相談したりしております。		希望を取り入れてくれる事により働きやすい。
22	向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	日々の勤務に対する評価、適切でないときには、指導されてます。		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	本人の不安を聞き取り、ご本人がどのように日常生活が送れるかを受け止めてその人らしい暮らしが出来るように努めております。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	グループホームの見学をして頂き、入居者さんの普段の生活や、たずさわる職員の様子を見て頂きながら、ご家族のお話を聞き受け止めるように努めております。		見学時には、家族又利用者さんと打ち解けるように心使いをしています。

		取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居者さんや家族が必要としていることを支援するためにも、ご家族からの情報、家族歴などを取り入れ、ご本人がどのように生活出来るか本人との会話を多く取り入れて、対応しています。		ご本人との会話多くして、少しでも希望に添えるように取り組んでいきたいと思います。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご家族からの情報などを取りえて、職員と話し合い穏やかに生活出来る様に取り組み、以前に使用されていた物などを調達したりしています。		他の利用者さんとの交流が出来る用に外出する機会を持ったり、個人の意向を聞き、居室にいる時間を少なくして馴染まれるように努めたいです。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	人生経験が、長いのでいろいろ教わる事も聞き上手になり、支え合う関係に取り組んでいくことが良い関係になるように築き上げていくことを努める		関わりを多く持ち職員がどの様なときにもご本人の気持ち添えていくことが出来る様に努めたい。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家族の協力にて職員の対応の関わり方も変わることもあり、家族との信頼関係が深まりよりよい関係が出来る様に努めています。		今後も家族との協力得て穏かに過ごしやすい環境で生活出来るように取り組みたいです。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	介護計画を意識し日常の変化がある時には家族と相談しております。		面会時には日頃の事をお話しをされ家族の要望を聴いたりしてます。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの方の訪問もあり、居室には以前に使用されてた調度家具などを設置するようにしております。		知り合いの方の訪問があると自室で話され、話がはずみ時間のたつのも忘れてます。又入居者さんも知り合いの方の所に行かれる時もありますが、一部の方のみですが他の入居者さんにも取り組んでいきたいとおもいます。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者さん同士の関係を把握し、食卓の席やくつろぎの場所を作っています。		会話の内容や、状況を把握しながらスタッフがさりげなく間に入り関係を持ちやすくなるような関わりを心掛けています。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	病院へ入院した方へは面会に行くことができました。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で把握に努めている。言葉や表情、家族からの情報などからも把握していけるように、心掛けている。		普段の会話や体調不良時などに気をつけていくように試みております。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族の方からの情報や本人との何気ない会話の内容を記録し生活暦やなじみの暮らし方の把握に努めている		本人との会話、家族との会話から把握に努めています
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人一人の生活暦と一緒に生活しながら、本人が出来る事などを理解し無理なく継続していけるものを探っています		普段の会話や表情家族からの会話の中から把握に努めています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ケアカンファレンス(月1回)を本人家族の要望などを聴き定期的にあセスメントを含めたモニタリングを行い介護計画の作成に努めています。		常に本人の側に立ったケアのあり方について学んでいきたいです

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	毎日個人記録を記入し、スタッフ間で情報を共有できるようにし、毎日の関わりやケアプランの見直しに役立っている。		定期的なカンファレンスの実施と介護計画の作成。
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日個人記録を記入し、スタッフ間で情報を共有出来るようにし毎日の関わりやケアプランの見直しに役立っている。		毎日の生活の様子、言動を個人記録として残していく
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	歯科の受診により歯科衛生士などから助言指導を受けています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域の小学校行事への参加や催物への参加・ホームの行事では、保育園児ボランティアの訪問により歌・踊りを楽しんでいます。		地域との交流に、ボランティアに参加を多く取組んでいきたいと思えます。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	ペット、車椅子のリースを行っております。リースが必要なときには家族にも相談、職員とも検討しています。		車椅子の必要性がないと判断したときには、家族に連絡してリース解約しております。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターとの協働している事例はありません。		今後必要に応じて協働していきたいです。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	係りつけの病院に受診しています。健康状態が良くない時には対応して下さり処方して下さいます。		
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	往診時主治医が本人から話を聞いた後、管理者や職員が足りない部分を補足し対応しております。		常に連絡が取れるため、職員の対応が早いです。
45	看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力医が24時間体制なので相談にのって頂いています。往診機関についても24時間対応。		調剤薬局の方にもお薬の相談にのっていただく事もあります。
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入居者さんの事を第一に考え医師・家族と話し合い退院後の過ごし方を職員と検討しています。		今後も入居者さんのために医師と相談していきます。
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	入居時契約の際重度化や終末期のあり方について説明しております。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	重度化された方はいませんが今後はあり得るためかかりつけの主治医と検討して行きたいと思います。		

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	入所時には、出来る限り本人の馴染んだ物を持ってきて頂いています。		本人のペースに合わせ、その人らしい生活にあわせていきます。家族からの情報交換も、密に行きたいと思っています。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重				
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	利用者個人の生活歴、習慣などを職員が理解するように努めています。プライバシーを配慮した声掛けや支援を心掛けている。		職員の意識としては薄い部分があり配慮が必要。
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	個々に合わせた声掛けを考え表情を読み取りわかりやすい説明を心掛けています。		こちら側の押しつけではなく出来る限り、その人らしい生活することが出来る様に心掛けている。
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の生活ペースを尊重し出来るだけ本人の希望に添った一日を過ごせるようにしています。		本人のペースに出来る限り近づけるように心掛けている。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	本人が選んで着替えが出来るような支援を行っている。定期的に理美容院を利用しておしゃれを楽しんでもらっています。		外出する時の身だしなみの支援やお化粧をされていた方にはさり気ない声掛けをして意識をもって行く様にかかわる。
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理、片付けなど出来る事を一緒に行っている。		自からお手伝いをして下さる方もおり、一日の日課にしてくれている方もいらっしゃいます。体調が良くないと時には休んで頂いています。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	早朝はモーニングコーヒー、10時には好みの飲み物を飲まれており、燕下の悪い方にはトロメイクを入れむせ込みのない様に工夫しております。タバコを吸われる方には定位置でスタッフ見守りにて、吸われています。家族持参されたワインを週に1度位の割合で、薄めてほんの少し飲まれ楽しまれております。主治医と相談もされています。		早朝ティータイムは、今までどおり希望の物を提供したいと思います。15時のティータイムは皆さんと、一緒に手作りのものを作り楽しんで行きたいと思います。
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	定時的にトイレ誘導を行っていますが時間のずれがあり汚れる事もあります。本人からの訴えでトイレ同行もされています。		声掛けにてトイレ誘導する事によりオムツの枚数も減り、又下着を汚す事が減りいつも快適に過ごす事が出来るため今後も支援して行きたいと思えます。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	常に安全性に気をつけ危険のないように心掛けています。脱衣所と欲室の温度差の確認を行って入浴されています。入浴時心身共にリラックスして頂くためにも、一緒に歌を歌ったり又お話好きの方には、懐かしいお話を聴かせてもらい楽しいひと時を過ごして頂いています。一番風呂に入りたい方が多く曜日ごとに変更され、週一で一番風呂に入れる様工夫しております。		今後も希望に添えるように工夫し、入浴時はリラックスして頂けるように取り組んで行きたいと思えます。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	眠れないときには暖かい飲み物を提供したり、ラジオやテレビを聴きながら睡眠をとって頂き、又部屋を明るくし安眠出来る様に支援しています。日中手芸などで疲れたときにはいつでも休息が出来る様に支援しております。		昼夜問わずお話しを伺い不安を取り除き安心して休息出来る様に支援して行きます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	趣味や、昔していた仕事を活かして自然の流れで手芸や編み物をして頂いています。縫い物の得意な方には台布巾や雑巾を作っています。又私の出来る事であればと茶碗拭きをして下さる方もいらっしゃいます。		調理のお手伝いなどもう少しして頂けるようスタッフの心の余裕と気配りがあるとよいと思えます。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人の手持ちのお金で、身の回り品を買われたり食べ物を買われたりされています。買物ツアー等ではお小遣いで楽しんでいます。		ご自分で、お財布の中からお金を出して買い物をする楽しみを持てる生活を支援して行きたいと考えております。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	季節感を感じて頂くように戸外での食事、近くの学校、保育園、町内の祭りの参加庭園での食事に出かけてます。個別にデパート市場の見学買い物など個別には出かけてますが、限られた方なので検討して行きたいと思います。		外出出来る機会を多く気分転換を味わって頂きたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	家族と外出する方もおります又レストランに出かけたり、季節にあわせての外出もしておりますが、利用者さんと家族職員と出かける事はありません。		外出する時家族の同行があったら、もっと楽しいツアーになると思うので企画を検討して取り組みます。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族との電話のやり取りはされています。手紙を書いたら職員が郵送しに行く事もあり、一緒に出しに行く事もあります。		遠くにいる家族との接し方は電話にて話されています。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	入居者さんが昔からのお付き合いをしてくる方が訪問されたり、知人の面会に来られ自室にて話されています。		今後も気軽に来られる様におもてなししていきます
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は禁止されている行為であるため、身体拘束委員会を設け更に勉強会を行っていきます。		職員の意識、理解を得る為にも今後話す場を持つ。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	夜20時から朝7時まで防犯上玄関を施錠しておりますが、日中は玄関鍵を掛ける事はありません。居室は24時間鍵は掛けておりません。		今後も今のままで行っています。

		取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67	利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日常は職員が見守りに注意気配りし、夜間帯は常に巡回し安全に配慮しています。		日々穏かに生活が出来るように気を配りながら、支援していきたいと思っております。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬品洗剤などは、入居者さんの手の届かない場所に保管しております。		リスクを免れるためにも、今後も現状維持していきます。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	転倒や誤薬については、月に1度の会議、緊急会議を開き話し合っております。今後も知識を身につけ個々の状態に応じたケアがされるように取り組んでいきます。		事故がないように日々の介護に支援していきます。
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	目のつく所に通報要領を提示しています。管理者に報告、主治医に連絡出来るようにしています。		今後も勉強会を行い救急対応できるようにしていきます。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練をした時に消防士の方々の説明を受けております。地域の方々との交流を深めて協力得られるようにしていきたいと思っております。		運営推進委員会を取り組んで地域の方々とのつながりを持つように努めていきます
72	リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	利用者さんの日々の生活を見て職員と会議、カンファレンス、を行い介護計画書を作成し家族に、説明をしております。家族の面会時には職員と対応し、今後のことなどを話される事もあります。		毎日の生活の中での出来事について、職員と話し合い対応していきます。

		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日バイタル測定を行っており月2回の往診、受診があり体調不良時には、主治医に連絡、支持を仰いで頂いております。		健康状態の管理が出来るため今後も取組んでいきます。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方箋を個人ファイルに保存、常日頃見れるようにしております。自ら服用できる方には、飲み込んだのを確認し、困難な方には介助にて服用されております。職員全体が、理解されていないため、薬の本を見て調べる事もあります。		状態が変わる時には、主治医に連絡して薬の調整をして頂いたり、支持にて介助しております。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	往診、受診時に便秘の対応をその旨伝え薬を指示して頂き、又水分の補給、繊維質のある食物を多く摂取できるように食事の献立に取り組んでいます。		温度板に毎日排便の確認を行っています。トイレ誘導の方は確認できるのですが、本人が行かれる時には、排便の確認が難しいのでお腹の張りなどで、下剤を使用する事もあります。繊維質の食材を摂取されたり、水分多く取るようにしております。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	ご自分で毎食後口腔ケアをされている方でも職員目配りしてます。介助の方も少しずつ出来る様に支援しております。		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	献立作りは職員が作っております。バランスよく食事摂取できるように1週間のメニューを作成しております。水分補給は時間を決めて飲水、それ以外にも捕給され1日の水分量を目標にしています。1日の水分量、食事摂取は記載されております。		食事の献立に留意していますが、利用者さんが食べたい物も取りえて献立しています。塩分も控えめにしていますが、病状に合わせた食事療法が困難な方には主治医と相談したりしていますが、今後も更に取り組んでいきたい。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	感染予防の研修に参加されたり、保健所からの通達書類を参考にして、職員が対応しております。		目に付く所に注意事項を展示し、常に職員が察知出来る様に心掛けています。健康管理、衛生管理に今後も努めます。

		取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	調理器具の除菌、食材を多く買わず常に新鮮なものにしています。		日付けの確認をしています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	入り口が解り易いように手作りの看板が設置されております。又ベンチがあり気軽に談話できるようにしております。		玄関前にベンチがあることにより季節に応じて楽しみ方も変わりますが、ベンチがあることによりコミュニケーションが取れています。
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	家庭的な雰囲気与生活が送れるようにしております。		フロアで職員と話されたり、疲れたときには自室にて休まれたりして、それぞれのペースで生活されています。
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	食卓テーブル、カウンター、ソファと好きな時にゆっくり過ごせれる空間は揃っております		利用者さん方はそれぞれの生活のリズムで過ごされています。
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	ご家族と居室の配置を相談し、安全性を考慮し、使用していた物を居室に置かれ、馴染みの物を見て、その人らしい生活を送られるように、工夫しております。		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	窓の換気各部屋の窓の開閉により換気を行い各部屋に温時計、湿度計を設置しています。冬には各居室にバスタオルを濡らし乾燥防止に努めております。		居室、フロアに於いても湿度計、空気の入替えをしています。夜間は居室の温度も確認されています。

	<p style="text-align: center;">取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)</p>	<p style="text-align: center;">印 (取組んで きたい項目)</p>	<p style="text-align: center;">取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)</p>
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p style="text-align: center;">身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>玄関前はスロープになっており、建物内は基準によりバリアフリーで安全な環境作りをしています。</p>	<p>玄関前には、スロープになっていますが手すりもあり、職員見守りにて歩行されています。バリアフリーにはなっていますが常に歩行状態を見ています。</p>
86	<p style="text-align: center;">わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>居室の入り口には家族より許可を頂き御自分の名前、写真を提示表札代わりの目印として生活出来る様に工夫しています。</p>	<p>目印になる物は、提示してありますが利用者さん迷う事ありませんが今後も提示していきます。</p>
87	<p style="text-align: center;">建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>玄関前にベンチ設置し外の空気に触れる機会を設けています。他にベランダ前に農園を作り、菜園の成長を楽しんで頂いている。</p>	<p>毎年アイケア農園を利用者さんと菜園を作り楽しみ、玄関前で昼食会をしたり施設での楽しみを活かす事を今後も行っていきます。</p>

. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p>

. サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

食事に力を入れております。利用者に食べたい物を聞き、高齢者の好むものを多くメニューに取り入れております。近くの市場より活きのいい魚を仕入れ、煮魚・焼魚を多くし、季節に注意しお寿司・お刺身なども提供しております。

利用者に少しでも不安なく毎日が送れる様職員一同頑張っております。